

福岡しんきん地域密着型金融の推進計画

平成 21 年度 (平成 21 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月)

地元を愛し・地元と共に生きる



福岡信用金庫基本方針

- 1．地域社会に奉仕し、その繁栄に貢献する。
- 2．信用を重んじ、科学的経営を推進する。
- 3．従業員の幸福増進と金庫の業績向上を図る。

平成21年度経営方針

本年度は「しんきんルネッサンス2006」(前計画)の理念を踏襲して現在推進中の地域密着型金融のあり方を再点検しつつ、これを進化させていくと共に、信用金庫が持つ「つなぐ力」を更に進化させて会員をはじめ地域の様々な主体との連携を一段と強化して新たな価値の創造と地域の持続的な発展を目指すことを目標とする新3ヵ年計画『しんきん「つなぐ力」発揮2009』をスタートさせた。

本計画の向こう3ヶ年を展望すると、百年に一度の不況と言われる経済状態の影響を受けて、地域経済の停滞感が強まり地域社会の疲弊が一段と進行することが懸念される。一方で、人口や中小企業の減少は確実に進行しており利ざやの縮小等、収益構造の変化とも相俟って、信用金庫経営の環境は一段と厳しさを増すものと予想される。このような厳しい環境は、預金・貸出金という従来の金融仲介機能を強化するだけでは克服出来ない。役職員一人ひとりの生産性向上と収益力アップを図り、あらゆる経営資源を駆使して中小企業や地域住民としっかり向き合い、共に課題解決に努め地域経済の持続可能性を高めていくことが重要である。

ここに計画目標達成の為、以下の基本方針を設定する。

(1) 地域密着型金融の深化

地域金融機関として、地域密着型金融への取組を通じて、地域活性化や地域の持続的な発展を目指す。

(2) 独自性のさらなる発揮

協同組織金融機関として、信用金庫の独自性をさらに発揮する。

(3) 永続性ある経営の確立

内部管理態勢の整備、経営効率の向上及び人材育成等によって、永続性のある経営の確立に努める。